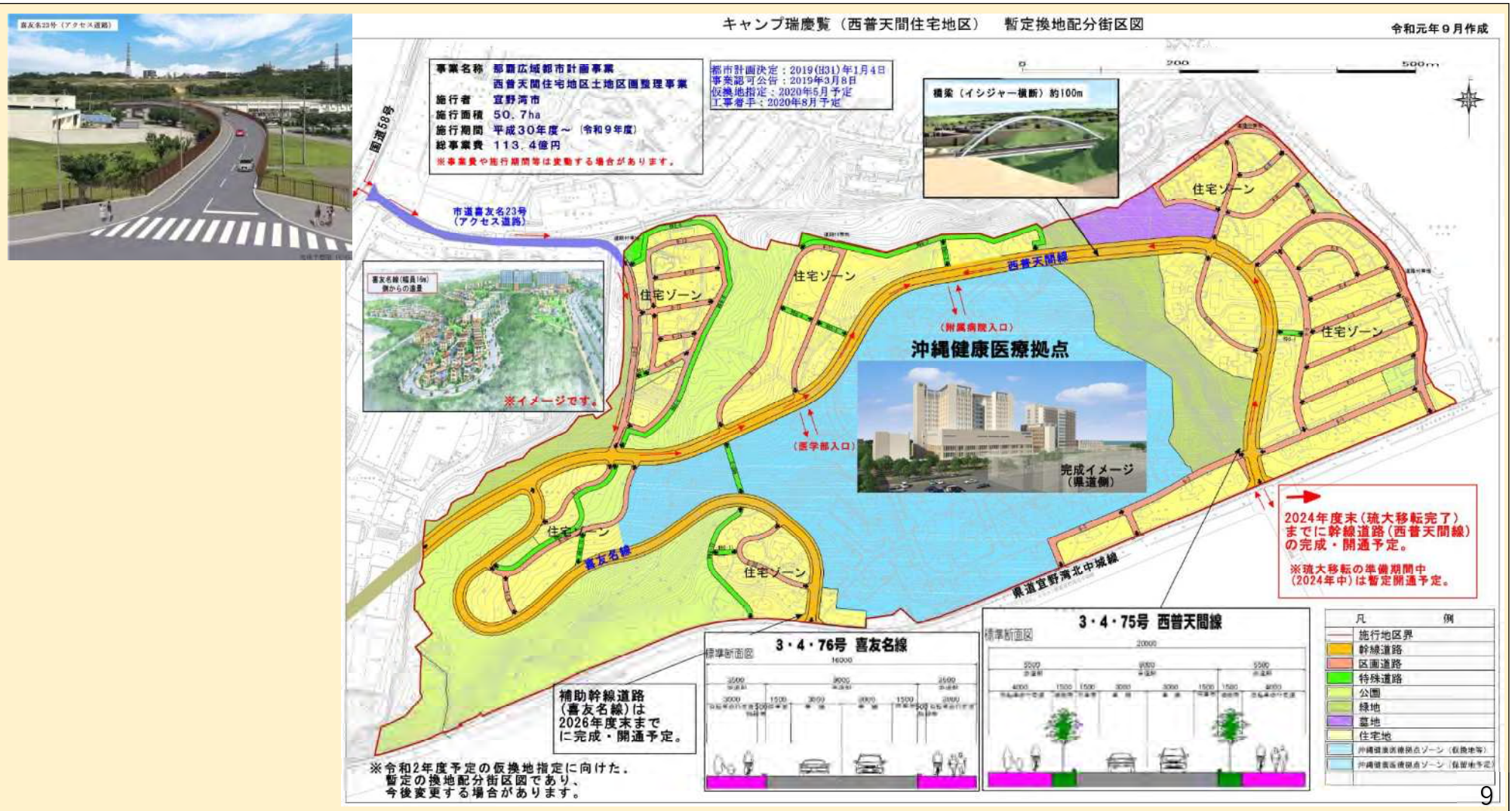


既に返還され跡地利用が進む先行事例  
(西普天間住宅地区跡地)

# 西普天間住宅地区跡地利用計画

- 「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と水・みどり・文化の調和した住環境がつながるまち」をコンセプトに土地区画整理事業を実施中。
- 令和7年の琉球大学医学部及び同附属病院の開学・開院に向けて、令和2年5月に仮換地指定、同年8月に工事着手を予定。土地区画整理事業としては令和9年度末に工事完了、換地の登記を行う予定。



# 跡地利用の核となる沖縄健康医療拠点

## 国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点について

(西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告) H29.4.26

### 沖縄の医療の国際性

- ・沖縄の医療は戦後、米国の協力の下に整備
- ・インバウンドが増加し感染症流入のリスク

### 広域・多数の島からなる沖縄の医療の特性

- ・離島及びへき地での医療体制確保が必要
- ・遺伝学的に特徴的な体質や疾病構造が存在

西普天間住宅地区跡地に琉大医学部・病院を移設し、沖縄の医療体制の中核となる医療拠点を整備

### ①高度医療・研究機能の拡充

- バイオバンク
  - ・沖縄県民のゲノムの生体情報と医療情報システムを融合したバイオインフォメーションバンクを整備
- 生物資源ライブラリ
  - ・創薬研究への橋渡しとなる生物資源を保管・活用
- 感染症対策
  - ・感染症対策の研究・臨床機能を拡充
- 創薬開発、医工連携

※OIST等の国内外の関係機関と連携して実施

### ②地域医療水準の向上

- 県内医療機関への医師派遣機能強化
- がんセンターの機能強化 等

### ③国際研究交流、医療人材育成

- 海外大学、研究機関等との共同研究
- 高度医療や地域医療に必要な人材育成

- ・バイオ産業の基盤を整備し、創薬開発等を通じて**沖縄振興へ貢献**
- ・沖縄の公衆衛生、地域医療水準の向上等を通じて「**長寿県沖縄**」の復活
- ・感染症対策等を通じて**国際保健(グローバル・ヘルス)への貢献**

※現行の琉球大学医学部及び同附属病院が沖縄県全体に及ぼす経済波及効果は488億円と試算。

(沖縄健康医療拠点に係る整備費用は考慮外。)

【参照：琉球大学インスティテューショナル・リサーチ (IR) 推進室作成資料 (平成26年時点のデータに基づく試算)】10

基地返還後の跡地利用に向けて

## 宜野湾市における基地跡地利用に向けた課題

- ・ 期待される経済効果を発揮し得る跡地利用計画の策定
- ・ 地権者との合意形成
- ・ 返還後に必要となる公共用地の確保
- ・ 速やかな跡地利用を推進するための返還前からの文化財、自然環境等の立入調査の実施
- ・ 跡地利用を進める上で必要となる財源の確保
- ・ 返還後の跡地で活躍できる人材の育成